



---

## 高洲・高浜地区 区民対話会 －地域の連携を深めるために－

---

平成28年3月6日

美浜区

### 本日の流れ



1. 昨年度対話会の振り返り
2. 対話「地域団体の連携について」
3. 地域団体が連携するために
4. 地域運営委員会のご説明

## 1.昨年度対話会の振り返り



### ◆ 日時・会場

平成27年3月7日（土）①10:00～11:45

②14:00～15:40

①高洲コミュニティセンター ②高浜公民館

◆ 参加者 16団体から40名+区職員5名

◆ テーマ 地域の将来像と担い手

→様々なご意見をいただきました！

- ・ 高齢者、認知症対策、外国人との共生
- ・ 地域での情報共有（連携）
- ・ 担い手への若手登用やきっかけづくり など

3

## 1.昨年度対話会の振り返り



### ◆ 主なご意見【高齢者の増加】

- ・ 一人暮らしの**高齢者**、**認知症が増加**している。
- ・ 元気な高齢者の方でも、雇用がなく将来に不安をかかえている方は多い。
- ・ 民生委員だけですべての高齢者を見守ることは困難であり、**地域全体での協力**が必要である。



#### 「安心カード」

既往症やかかりつけ医が記載され、もしものときに役立ちます。

#### 「認知症サポーター養成講座」

認知症を正しく理解するために、講師が出向いて講座を行います。



4

## 1.昨年度対話会の振り返り



### ◆ 主なご意見【外国人との共生】



- ・市営住宅等で外国人の入居が多く、**外国人住民**が増加している。
- ・**言葉の壁**や**文化の違い**があり、自治会内などで話が浸透しないことがある。
- ・外国人の中にも地域活動に参加したいという方や協力的な方もいる。
- ・日本語が堪能な外国人に協力してもらい、**同じ国の方同士**で生活ルールや地域参加を広めてもらうことが効果的ではないか。

→区では、千葉県や住宅供給公社、国際交流協会など、関係各所との**協議の場**を設定しました。

5

## 1.昨年度対話会の振り返り



### ◆ 主なご意見【住民の地域参加・担い手確保】



- ・行事や地域活動を知らない人も多い。多世代に幅広く**情報発信**していくことが重要。  
→まずは行事に参加してもらい、興味を持ってもらう**きっかけ**を作ること。
- ・役員は大変だというイメージが浸透している。  
→仕事の**内容や範囲をはっきり**示すこと。  
→多くの人に参加してもらえれば、**負担軽減**にも繋がる。

「**地域運営委員会**」制度

→地域団体間の連携を深め、幅広い情報発信や将来の負担軽減に繋がる可能性を広げます。

6

## 1.昨年度対話会の振り返り



### ◆ 地域の担い手を増やすヒント

- ・ 地域活動に参加してもらう工夫  
+  
楽しんでもらう工夫
  - ・ 地域活動の担い手となってもらうための  
きっかけづくり（活動内容PR、声掛け）
  - ・ 担い手となる方への配慮  
（仕事内容等の明確化、負担の分散化、協力体制）
- 参加者の拡大・満足  
↓  
「お手伝いしようかな」



様々な**地域団体が連携して取り組む**ことで、  
地域活動の幅が広がり、入り口が増え、  
「**これならできる**」と思える活動に出会える **7**

## 1.昨年度対話会の振り返り



### ◆ 地域団体同士はお互いに理解し合えてる？

- ・ 区民対話会で各団体の現状や課題、意見  
が聞けて有意義だった
- ・ 地域コミュニティの大切さを感じた
- ・ 地域の人たちに活動内容を知ってほしい
- ・ 各団体の活動内容をもっと知りたい



**団体間の情報共有や相互理解**が進むと、  
より効率的な活動や担い手確保が  
できるのでは？

## 2.対話「地域団体の連携について」



各団体の方にお伺いします。

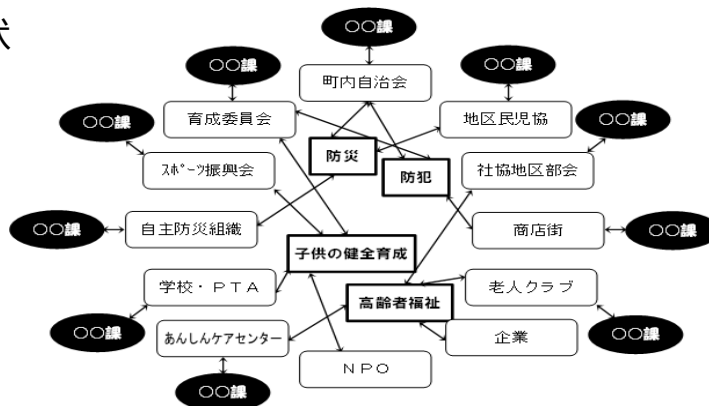
- ① 他の団体と連携して事業を行ったことがありますか？
- ② 連携して良かった点は何ですか？
- ③ 逆に「やりづらい」と感じた点は？
- ④ どうすれば団体間の連携が進むと思いますか？

9

## 3.地域団体が連携するために



現状



- 地域全体をサポートする団体がない
- A団体とB団体で似通った事業を行っている場合、A・Bの連携で効率化できる余地がある
- 資金を団体間で融通しづらいため、効果の高い事業であっても拡大困難

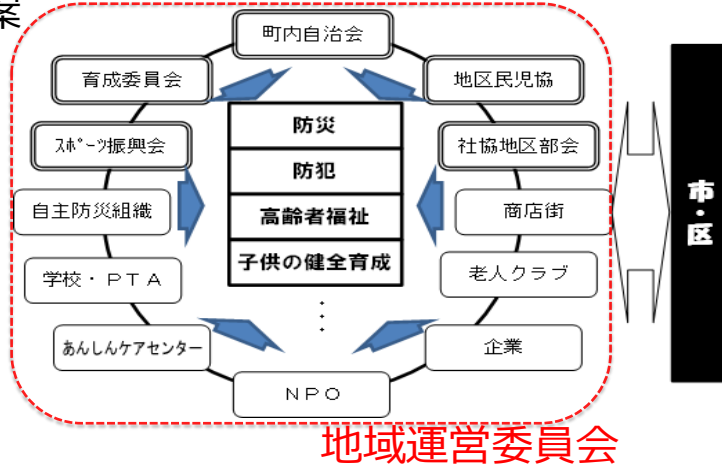


10

### 3.地域団体が連携するために



#### 改善案



- 各団体が構成する地域運営委員会を立ち上げる
- 団体間の情報共有、相互理解や、事業実施に必要な資源（人材、資金など）の配分を地域運営委員会で話し合う



11

### 4.地域運営委員会のご説明



#### Q.地域運営委員会ってなに？

A.様々な地域団体が参加して構成する組織です。  
一定の地区（中学校区など）ごとに、  
「助けあい、支えあい」による地域運営を目的として設立されます。

※構成団体は自由に決めていただけます  
（NPOや大学教授、小中学校等の参加事例あり）

※以下の5団体は原則参加となります

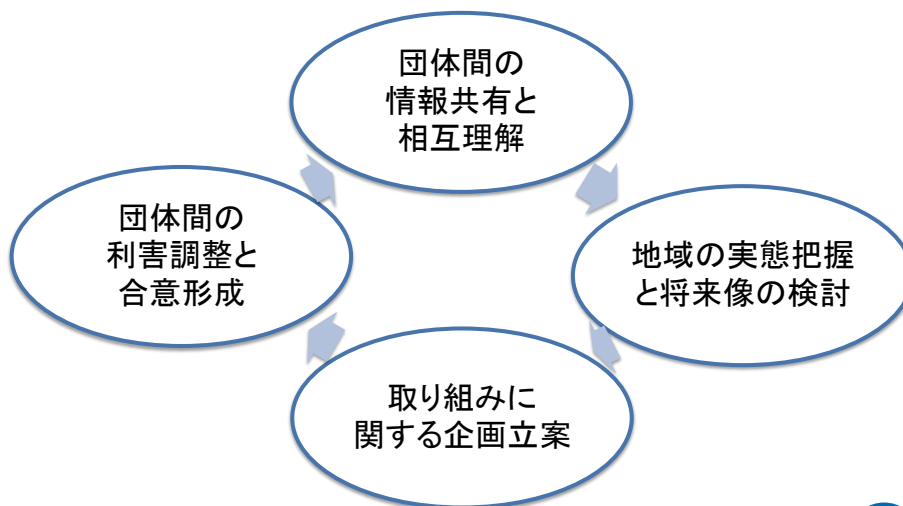
- ・ 地区連協
- ・ 社協地区部会
- ・ 地区民児協
- ・ 育成委員会
- ・ スポーツ振興会

12

## 4.地域運営委員会のご説明



Q.地域運営委員会の役割は？



13

## 4.地域運営委員会のご説明

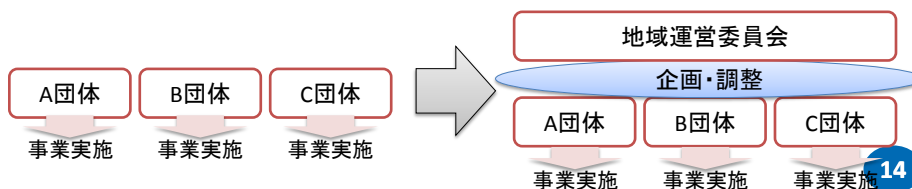


Q.今ある各団体はなくなるの？

A.なくなりません

既存の団体は、事業を行う主体として活動を継続します。（事業実施）

地域運営委員会は、団体間の連携促進・調整や地域全体の企画立案を行います。（企画、調整機能）



14

## 4.地域運営委員会のご説明



Q.メリットは？

A.

- 地域全体を見渡せる  
分野問わず地域のあらゆる課題が見渡せ、  
より優先度の高い課題から取り組める
- 資源の有効活用  
人材、ノウハウ、資金など、各団体の資源を  
有効に活用できる
- 個々の団体の負担軽減  
各団体で実施している事業のうち、事業内容が  
近いものを共同実施できる

15

## 4.地域運営委員会のご説明



Q.市の支援はある？

A.3つの側面から支援します

- 資金：地域運営交付金（統合補助金）や  
設立のための補助金などを支給します
- 人：地域担当職員が市の窓口としてサポート  
します
- 拠点：地域に活動拠点が無い場合、公共施設の  
活用による拠点確保を検討します

16



## 4.地域運営委員会のご説明



Q.資金面の支援内容は？

A.地域運営委員会の活動段階に応じ支援します

【設立前】

設立支援補助金 10万円（原則1年限り）

【設立後】

活動支援補助金 10万円

【設立後、各団体補助金の統合を行う場合】

地域運営交付金 統合する補助金の総額  
+ 総額の1割

※いずれも、コミ懇運営補助金との併給は  
できません。

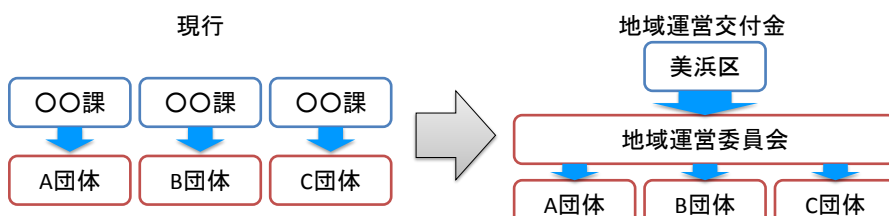
17

## 4.地域運営委員会のご説明



Q.地域運営交付金ってなに？

A.地域団体が個別に受けている市からの補助金を、  
一括で地域運営委員会が受ける制度です。  
各団体への配分は、地域運営委員会で自由に決めて  
いただけるため、地域で力を入れたい事業への資金  
配分がしやすくなります。



18

## 4.地域運営委員会のご説明



### Q.地域運営交付金を受けるメリットは？

- A. ・地域で資金配分を決めることができます
- ・補助金の総額が1割増えます

(参考) 高洲・高浜地区で地域運営交付金を受ける場合の試算

※金額は平成27年度予算ベース

